

ART FAIR TOKYO 2023 YUKI-SIS

Lobby Gallery Booth # P003



Full-fledged 2023 60.6x50.0 cm (F12) Oil on Canvas

YUKI-SIS はアートフェア東京に新藤杏子の個展で出展致します。
ART FAIR TOKYO

2023.3.10 (Fri) —12 (Sun)

プレビュー 3.9 (Thu)

ブース No. : P003 (Projects/B1F Lobby Gallery)

会場 : 東京国際フォーラム ロビーギャラリー / ホール E

11 : 00 ~ 19 : 00 (最終日のみ ~ 16 : 00)

<https://artfairtokyo.com/>



束の間の静寂 2023 97.0 x 130.3 cm (F60) oil on canvas

新藤杏子は 1982 年東京生まれ。2007 年多摩美術大学大学院美術研究領域を卒業。YUKI-SIS では 2012 年より 8 度の個展を開催しています。2022 年、損保ジャパン主催のアーティストコンペティション Face 展にてグランプリを受賞。大きな反響を呼びました。最近では YIRI ARTS(台北)での個展でも大好評を博し、今後のインターナショナルな活躍を予想します。

多摩美術大学在学中より、油画専攻でありながら、油絵具が体質に合わず、水彩画を描いていた新藤杏子は、水彩の滲みを生かし、現代の風俗画としていきものの営みをテーマに作品を制作してきました。

常に新しい画材を試してきた彼女は、ここ数年でようやく体質にあう画材にたどり着き、その表現媒体を油彩に戻しました。それにより、彼女の描く世界は具体的な背景を持ち、より深みや意味を持つ表現となりました。従来の油彩画の表現とは異なり、水彩で培った自由な筆使いが彼女の作品の魅力になっています。

近年の作品には子供と日常、「社会、生き物、自然」などの関わり、循環や境界線などを作品に暗示しています。そこには、彼女が教養と好奇心から今まで培ってきた、神話や文学、考古学、宗教観、漫画など、様々な分野への興味とエッセンスが融合されているようです。

新藤杏子が描く子供たちを通して、私たちの心のどこかに残る、懐かしさやいとおしい記憶、香りや温度などの感覚をふと思い出すことでしょう。

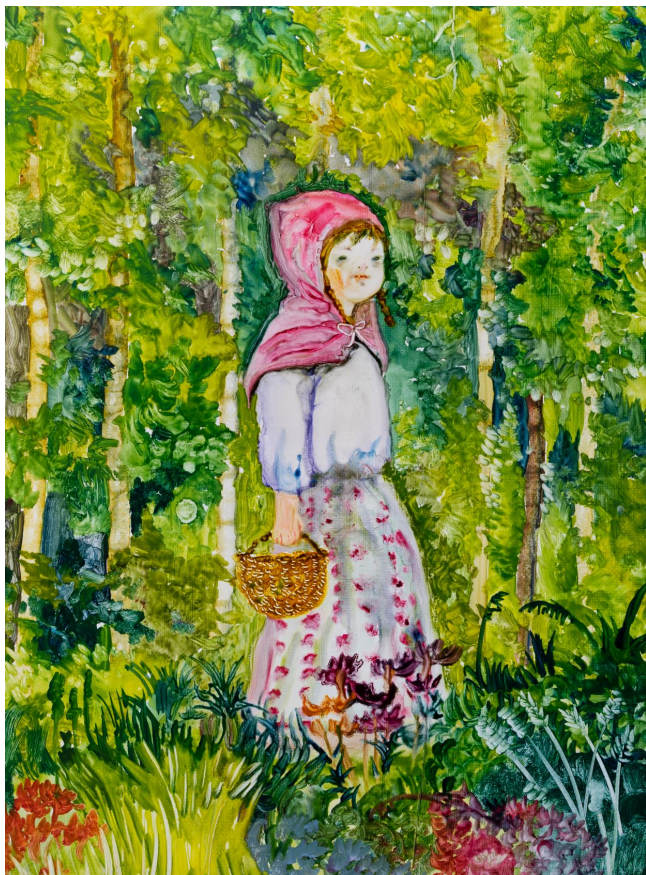
新作 12 点をアートフェア東京にて発表します。彼女が見つめている視線の先から目が離せません。ぜひご覧ください。



quietly 2023 72.7x60.6cm (F20) Oil on Canvas



束の間 2023 33.3x24.2cm (F4) Oil on Canvas



森の奥 2023 33.3 x 24.2 cm (F4) Oil on Canvas



Longing 2023 45.5x38.0 cm (F8) Oil on Canvas



Reward 2023 33.3 x 24.2 cm (F4) Oil on Canvas